

- ◆研究者：門脇 緑(かゝり) 先生 / 国立国際医療研究センター 乳腺・腫瘍内科
- ◆研究テーマ：AYA 世代がん経験者の身体・心理社会的な晩期障害およびサバイバーシップケアに関するニーズ調査
- ◆助成金額：50 万円

1：研究者になろうとしたきっかけ

私はがん専門病院や地域において看護師としてがん患者さんと関わる中で、臨床の中ではすぐに解決することができない多くの課題を感じました。そのような、直接支援することが難しい課題について、研究を通して支援したいと考えたのがきっかけで研究者を志しました。

2：助成研究の内容紹介

AYA 世代のがん患者さんへの支援は重要課題の一つです。さらに、がんサバイバーの方々への支援は今後ますます重要になっていくと思います。しかし、AYA 世代のがんサバイバーのニーズや状況については十分に把握されていません。本研究では、AYA 世代のがんサバイバーのニーズや状況について把握し、支援を検討します。

3：2の将来に繋がる結果予想・目標

アンケート結果をもとにニーズや状況を把握し、AYA 世代のがんサバイバーに対するサバイバーシップケアについて提案することが目標です。

4：全国の RFL 関係者に一言メッセージ

貴重な助成金をいただき誠にありがとうございます。みなさまのお役に立つ研究となるように努めてまいります。